

みやこ市議会だより

# 羅針盤

らしんばん

2018

平成30年

3月議会

No.52



4月7日に開かれた「道の駅たろうオープニングセレモニー」での餅まきの様子。  
この日は多くの市民が道の駅を訪れ、三陸ジオパークの玄関口となる施設の完成を  
祝いました。(関連記事は16P)

## INDEX

3月定例会…2P

一般質問…6P

議会とくくとぴくす・お知らせ・編集後記…16P

市議会が変わります…4P

予算特別委員会…13P

# 平成30年度当初予算 など全78議案を審査

新年度の一般会計予算額は408億100万円

宮古市議会平成30年3月定例会は、2月19日(月)から3月19日(月)までの29日間の会期で開かれ、会期中の本会議の日数は6日間でした。新年度予算や、市議会改革の関連条例が審議された3月定例会の内容をお知らせします。

## 新年度の方針示される

今定例会では、開会日である2月19日の本会議冒頭で、山本正徳市長が「平成30年度宮古市経営方針」を、伊藤晃二教育長が「平成30年度宮古市教育行政方針」を述べ、新年度の市政と教育行政の目標について、議会に説明を行いました。

## 30年度予算など可決

議案審査については、市長から提案のあった、宮古市一般会計、宮古市国民健康保険事業勘定特別会計、宮古市水道事業会計など

## を改正する条例

▼国民健康保険の広域化により、県と市が分担する財務に関する事務が見直されたことに伴い、基金を財源に充てることができ経費を変更する条例です。

## ○宮古市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

▼岩手県後期高齢者医療広域連合が葬祭の給付を廃止したことにより、当市が行う事務から当該給付の申請に係る事務を削除するとともに、高齢者の医療の確保に関する法律の改正に伴い、保険料を徴収すべき被保険者を追加する条例です。

○宮古市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例  
▼指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例です。

【関連】一般質問の詳細は6ページからの記事をご覧ください。

## 減少が続く当初予算

平成30年度一般会計予算総額は408億100万円、前年度当初予算と比べて69億1300万円(14・5%)の減少となり、震災後の当初予算で最も少なかった平成29年度を割り込む形となりました。復興関係の事業が最盛期を過ぎたことが影響していると考えられます。



予算特別委員会の様子

## 可決した意見書

○ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシー事業を守る施策推進を求める意見書

▼地域の公共交通の役割を担うタクシー事業者が、より安全・安心で快適かつ便利な交通機関として利用客にサービスを提供できるよう、ライドシェアの導入は行わずタクシー事業の適正化・活性化のための施策推進を国に要望する意見書です。

## 請願の審議

### 採択

ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシー事業を守る施策推進を求める請願

(請願者 生活交通をつくるいわての会 共同代表 小野 幸宣ほか6人)



タクシーやバスの集まる宮古駅前

# 平成30年 3月定例会



一般会計の歳出を見ると、震災対応分が91億4071万円と前年当初比47・1%の減少、通常分は316億6028万円と前年度当初比4%の増額となっています。

一方歳入は、市税が前年度当初比3・6%増の55億6906万円、地方交付税が前年度当初比16・5%減の123億4758万円となりました。

平成29年度一般会計補正予算は24億4520万円減の513億1313万円。

## 可決された条例など

### ○宮古市住民投票条例の一部を改正する条例

▼公職選挙法の改正に準じ、投票資格者名簿の調整に関する事務の合理化等を図る条例です。

### ○宮古市国民健康保険事業財政調整基金条例の一部

# 市議会が変わります

## 通年議会と委員会再編等について

市議会では平成30年度より、年間を通じて会期とする「通年議会制」を導入することとしました。また、改選後の議員定数は22人となり、これに伴い委員会などの構成も変更になります。5月から新しくなる、議会の制度等について説明します。



### 通年議会導入の意義

市議会では平成30年度から、定例会の回数を年1回とし、会期をほぼ1年とする「通年議会」の制度を導入します。

これまで市議会では、定例会・臨時会ごとに開会・閉会を繰り返していましたが、今後は年1回、市長の招集により開会し、翌年の4月下旬に閉会するまでの約1年間、会期が継続することになります。

通年議会の導入により、議会が常に活動できる状態となり、大きな災害が発生したり、緊急に対応が迫られる行政課題が発生したり

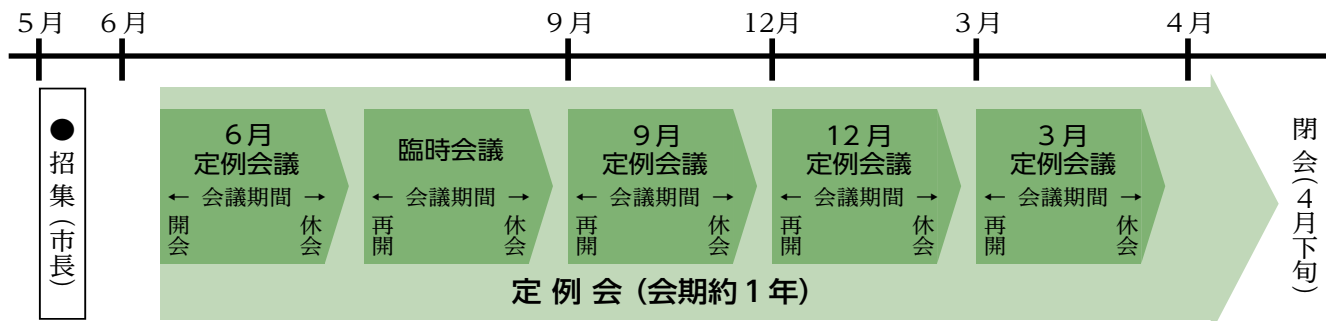
### 会議の招集と会期

通年議会中の会議は、次のよう運営されます。

□市長の招集後は、定例会の会期中、議長が会議を開きます。これにより各会議を主体的に行うことができますようにします。

□通年議会導入後も、定期的に開く会議は「定例会議」として維持されます。また、緊急性のある議案の審議等を行う場合には、

### 【通年議会のイメージ】



閉会(4月下旬)

### 【会期と会議の新旧対照表】

|      | 新しい制度<br>(平成30年5月から)                    | 以前の制度<br>(平成30年4月まで) |
|------|-----------------------------------------|----------------------|
| 定例会  | 年1回5月に市長が招集しほぼ1年を会期とする                  | 年4回会議ごとに市長が招集        |
| 臨時会  |                                         | 必要に応じて市長が招集          |
| 定例会議 | 会期中の6・9・12・3月に議長が定例的に招集                 |                      |
| 臨時会議 | 会期中に必要なに応じて議長が招集(市長または議員の請求に応じ開くことができる) |                      |

### 委員会の再編

必要に応じて「臨時会議」を開くことができます。  
□市長及び議員から会議開催の請求があった場合は、議長はその日から7日以内に会議を開催することとなります。

平成30年4月に行われた市議会議員一般選挙から、議員の定数が28人から22人になりました。  
この定数減により、これまでの「総務」「教育民生」

### 【委員会の新旧対照表】

| 平成30年5月からの<br>委員会構成 (人数) | 平成30年4月までの<br>委員会構成 (人数)    |
|--------------------------|-----------------------------|
| 総務常任委員会 (8人)             | 総務常任委員会 (7人)                |
| 教育民生常任委員会 (7人)           | 教育民生常任委員会 (7人)              |
| 産業建設常任委員会 (7人)           | 経常任委員会 (7人)<br>建設常任委員会 (7人) |
| 議会広報編集委員会 (6人)           | 議会広報編集特別委員会 (8人)            |
| 議会運営委員会 (7人以内)           | 議会運営委員会 (9人以内)              |

### 条例等の解説

ここまで説明した通年議会や委員会再編などの根拠となる条例は、議員発議により3月定例会に提案し、可決されています。4つの関連条例等を解説します。

■宮古市議会基本条例の一部を改正する条例  
通年議会の実施に当たり、条文に定例会の会期を通年とする旨を明記する条例。

■宮古市議会定例会条例の一部を改正する条例  
通年議会の実施に当たり、定例会の回数を年4回から1回に変更する条例。

■宮古市議会委員会条例の一部を改正する条例  
常任委員会の名称、委員定数及び任期を変更するとともに、委員の選任及び辞任手続の簡素化を図る条例。

■宮古市議会会議規則の一部を改正する規則  
通年議会の実施に当たり、会議の運営について定めるとともに、議員定数の変更に伴い、議員の議案提出および動議を行うための要件を定める規則。





今村 正 議員

## 質問 森林伐採の申請 手続きの厳格化を

## 答弁 誤伐・盗伐発生の 防止対策検討

適正な管理により  
盗伐等の防止を

**問** 森林の誤伐や盗伐による伐採業者と周辺の所有者、住民のトラブルを減らそうと、宮崎市では、伐採の際に出が義務づけられている届け出書類を改正し、伐採業者による関係者への事前説明を課すなど厳しくした。

宮崎市によると、木材価格の落ち着き

やバイオマス需要の高まりから伐採は数年、増加傾向にある一方、トラブルも増えており伐採契約が済んだ山林の隣接地の所有者から「同意なしに所有する木が切られている」といった内容が散見される。山の境界線があいまいであり、届け出の書類が簡素であることが背景に

あるとみられる。改訂された宮崎市の届け出書類では、伐採前の地元自治会長や隣接者への事前説明、隣接地との境界の充分な確認など、5項目を設けたほか、これまでより詳しい伐採地の地図や、発注者である土地の所有者の登記簿謄本の添付なども求

めた。宮古市の改善策はどうか。

**答** 山本市長

誤伐や盗伐の対策に、先進的に取り組んでいる宮崎市では、適正な森林施業を図ることを目的とした「伐採及び伐採後の造林の届出書」の事務取扱内容を改正し、添付書類を増やすことで厳格化した。

本市では、地籍調査が未実施の山林があり、トラブルの発生が懸念される。森林法、岩手県事務処理マニュアルに沿った誤伐や盗伐の発生防止を図る。今後、国、県、林業団体及び関係者等と意見交換を行い、適正な森林施業申請手続きの在り方を検討する。



西村 昭二 議員

## 質問 マイクロチップによる愛犬の管理を

## 答弁 マイクロチップ装着を推奨していく

マイクロチップで  
適正なペットの管理を

**問** ペットブームが進む現在、私たちの生活の中に深く関わるようになってきたペットが家族の一員となっている。登録時にマイクロチップを埋め込み、飼い主の名前や連絡先を記憶させることにより、迷子、盗難、災害時にスムーズに飼い主の特定などができることや、野良犬

などの保護にも役立つことから、埋め込みを義務化し、その費用を助成することがよいと思うが、市の見解を伺う。

認識している。適正な管理の啓発と、マイクロチップの装着について、推奨していきたい。

**答** 山本市長

国において犬猫へのマイクロチップの装着義務化が検討されているところであり、個体識別の有効な手段であると

**問** 浸水・雨水対策について  
市では各地域にポンプ設置などの浸水対策をしているが、現在、対策

が行われている場所のほかにも必要となるところがある。特に松山、高浜地区においては、集中豪雨の被害が度々あることから今後の対策が必要だと思うが、市ではこれらの地域の対策をどのように考えているのか見解を伺う。

**答** 山本市長

松山地区については、県で長沢川と閉伊川の合流部から3・9キロメートルの区間の河川改修工事を実施し、平成30年度内に河川断面の確保が完了する予定である。この地区の排水能力の検証を行い、どのような対策ができるか検討していく。高浜地区に関しては高浜中央線道路整備に合わせて、平成30年度内に排水状況を調査し、その結果を踏まえて検討していく。



熊坂 伸子 議員

## 質問 介護需要の将来 予測と人材育成を

## 答弁 市独自の実効性 ある施策を検討

介護人材の育成が  
急務となっている

**問** 未曾有の超高齢社会に突入し介護人材の不足が懸念されるがどのような対策を考えているか。

**答** 山本市長

介護労働意識調査を実施した。従業員の不足を感じている事業所は65・9%である。

支え合う地域づくりを基本に担い手を育む活動を促進する。

**問** 行政評価の現状と課題を

再開された行政評価の活用状況と課題について伺う。

**答** 山本市長

行政評価は、効率的で効果的な行政運営を確保するために実施する。平成29年度から外部評価を再開した。職員研修などを行い評価精度の向上を図る。

**問** 東日本大震災からの心の復興

**問** ハード面での復興が進んでいるが、心のケアは不十分と言わざるを得ない。市民の心の悩み等にどう対応するのか。

**答** 山本市長

多くの医療機関の支援を受けて被災者の心のケアに取り組んできた。現在は家庭訪問等を実施して被災者の心身の健康状況を把握し支援に努めている。

**問** 「復興『ありがとう』ホストタウン」指定について

本事業の具体的構想と、どのような未来につなげていくのか伺う。

**答** 伊藤教育長

シンガポールの小中学生との陸上競技交流等を考えている。五輪後も交流を続けて未来につなげていきたい。

**問** 三陸鉄道について

宮古・釜石間は移管により第三セクターとして日本一長い163キロとなる。今後の利用促進について伺う。

**答** 山本市長

三陸鉄道強化促進協議会を中心として、県と沿線市町村が連携し取り組んでいく。

**問** 路線バスについて

全国の路線バス事業者の7割が赤字。岩手県北バスも、様々な補助金で路線維持している。運行維持の方向性を伺う。

**答** 山本市長

バス路線35のうち30が補助路線、今後もバス事業者と連携し利用者や住民ニーズを分析して必要な見直しを行う。



畠山 茂 議員

## 質問 いかに公共交通を確保 維持していくか

## 答弁 公共交通のあり方を 検討・実践する



公共交通の結節点・宮古駅前

**問** 利用者の低迷が続く中、いかに公共交通を確保維持するかが課題。新年度は市民一人当たりの負担が約5100円となる。①地域公共交通網形成計画での推進状況と課題を伺う。②公共交通維持の財政負担の方向性、利用促進策を伺う。③公共交通ネットワーク形

成の考え方を伺う。

**答** 山本市長

①3つの目標を掲げ指標と数値目標を決め、取り組んでいる。②まちづくりの方向性と公共交通のあり方を検討・実践する。③幹線交通と支線交通・地域の特性に合わせた交通体系の構築を目指す。

**問** JR山田線維持について

将来的に廃線など危機感を持つ必要がある。一層の利用促進策・維持の考えを伺う。

**答** 山本市長

地域住民の足、観光面で重要な役割を果たしている。利用促進に取り組む。





田中 尚 議員

## 質問 「発展期」をけん引する各施策の評価は

## 答弁 産業立市ビジョンで推進している



緑の雇用で林業振興へ

**問** 復旧事業など、膨大な震災対応を除き「発展期」をけん引する各種施策と到達点への評価はどうか。

**答** 山本市長 産業立市ビジョンで農業は園芸作物の生産拡大、林業は計画的な森林整備、水産業はつくり育てる漁業を推進してい

るが、台風で推進に支障をきたした。

■公共交通網のあるべき姿とは

**問** 公共交通網の効果、今後の課題は何か。持助成費の削減、今後の課題は何か。市役所が宮古駅に隣接することを機に職員の通勤を可能にする三鉄などのダイヤ

改正を実現すべきでは。

**答** 山本市長 交通事業者、利用者の両面から支援しており、その拡大は必要に応じて判断していく。市役所職員には、公共交通の積極的利用を働きかけて行く。

■健康でふれあいある地域を

**問** ①ウォーキングの奨励による健康づくりと一体のポイントサービス事業が具体化されていない。意欲的な市民の参加は医療の予防効果が期待され、ポイントで商店街の購買力を高める事業に誘導できる。どのような検討状況か。②「サーモンケアネット」の医療分野で、中核を担うべき県立宮古病院は常勤医の恒常的な不足を抱えている。抜本的な改善要求をすべきでは。

**答** 山本市長

①県内では受診率の増加につながらず事業効果が限定的なため、慎重に対応する。②県、岩手医大などによる配置調整会議では、31年度から初期研修医の沿岸勤務の必須化で医師確保に努めるとしている。



小島 直也 議員

## 質問 臼木山の保全および管理に工夫を

## 答弁 新たな植栽で山の魅力を向上させる



臼木山のカタクリの花

**問** 日立浜にある臼木山は生活環境保全に指定されて市の管理で維持されているが、市民にもっと親しまれるよう工夫が必要だ。夏場の花木を植え足すなどして、宮古の自然を満喫できる観光の場として整備すべきだ。

**答** 山本市長

臼木山は桜やカタクリの群生を見られる、重要な観光資源であると考えている。植栽について環境省に確認したが、規制するものではないとのこと。今後、臼木山の魅力が高まるように夏に咲く花木の植栽など整備を検討する。

■選挙の投票率向上について

**問** 全国で期日前投票の割合が伸びている。さらに投票割合を向上させる方法として、投票所入場券の裏面に宣誓書を印刷するべきだ。期日前投票時にあらかじめ宣誓書に記入出来ることでストレスの軽減が図られる。既に他市では導

入している。

**答** 宇野選挙管理委員会委員長

投票所入場券の裏面に宣誓書様式を記載することで、受け付け時間の短縮や投票環境の向上が図られることから、早期導入に向けて検討を進める。

■ラグビーワールドカップ釜石大会に合わせた観光施策について

**問** 釜石市でのラグビーワールドカップ大会に訪れる観光客を、宮古へ誘客するための市の施策は。

**答** 山本市長

宮古市内の宿泊施設の収容人数は約2400人である。外国人も多数訪れることを想定して、通信環境の整備や、おもてなし研修会などを開催していく。



橋本 久夫 議員

## 質問 港に人が集うための景観形成を図れ

## 答弁 魅力的な空間となるよう取り組む



宮古港に入港接岸するクルーズ客船

**問** 今年6月にフェリー航路が開設される。さらに外国クルーズ船や、来年には11万トン級の船が入港し、港は大きな転換期を迎える。港の賑わいのためにも緑地、広場、植栽、ウッドデッキ等「港の景観」や「色彩」は重要である。絵になる宮古港を創り上げるための展望を伺う。

**答** 山本市長

港の景観向上は観光客や市民が親しむためにも重要な要素。提言の緑地や広場、植栽等については、港湾管理者である県と連携しつつ、船舶を利用した交流の玄関口にふさわしい魅力的な空間と

なるよう取り組んでいく。

■木材港の利用調整を図り早期整備を

**問** 市港湾振興ビジョンにあるように、南側にプレジャーボート等が係留出来る親水ゾーン施設として再整備を図り、早期に藤原ふ頭と一体化した港湾を

形成すべきではないか。

**答** 山本市長

港湾管理者に働きかけながら利用しやすい施設となるよう努める。今後レクリエーション利用者、漁業者等関係者と意見交換しながらあり方を検討する。

■観光ツアープログラムの受入れ態勢の状況は

**問** 行政、クルーズ会社、民間事業者、観光団体、NPO、地域住民ら関係者との協力関係を構築、強化する必要がある。受入れ態勢をどう考えているか。

**答** 山本市長

体験プログラムは森・川・海体験交流実行委員会を取り組んでいる。ニーズを把握しながら会員を増やすようNPOや市民団体に働きかけていく。

## 総務・民生

■携帯電話不感地域解消事業

**問** 平成30年度の整備予定地区はどこになる予定か。また、現在把握されている不感地域は。

**答** 田老畑地区となる。現在把握している不感地域は、宮古の箱石地区、長沢7組8組、川井の大仁田、新里の和井内の5番の5箇所である。不感地域解消のため県と連携して事業者に働き

かけたい。

■路線バス対策事業

**問** 地域から現在の33路線のほかに運行の希望は出てくるか。

**答** 地域からはダイヤ改正の要望があったが、路線新設の要望はなかった。

**問** 利用が少ない路線はどのような利用状況か。

**答** 1便の利用者が2人を割り込むところもある。事業者は廃止代替路線の対象としているが、市民の生活の足を守るということで継

続して運行をしている。

■公共交通利用環境整備事業

**問** 磯鶏駅、津軽石駅へのトイレ整備は、なぜJRで行わず市が行うのか。

**答** 磯鶏駅は被災前からトイレがなく、津軽石駅は既設のトイレが被災により破損。JR側からは、津軽石駅のトイレ復旧の意向が示されたが、水洗化されない状態での復旧案だったため、高校生等の利用を見込み、市で水洗トイレを整備することとした。三陸鉄道への

移管協力を金で充当し整備する。

■地域創造基金事業

**問** 地域創造基金事業は平成31年度までだが、地域に定着したものを継続していくことはできないのか。

**答** 最終的には自立して事業を運営するのが目標だが、地域創造基金事業の終了後の位置付けは、今後検討を進めていくことになる。

■空家対策事業

**問** リフォーム補助金を使ったところはあるか。利用

## 予算特別委員会報告 平成30年度予算審査



状況の分析は。

**答** 現在はまだない。利用がない1番の原因は、空家バンクの登録物件が少ないことだと考える。登録数増加が今後の課題である。

**■国道340号休憩施設等整備事業（旧小国小）**

**問** 総務常任委員会ではトイレが建物の奥に設計されているとの説明があったが、大きなトイレを外に作る方が良いのではないか。

**答** 既存の建物を活用するというところでこうした設計になった。利用状況などを分析し、今後必要があれば外への整備も検討したい。

**■国際交流事業**

**問** 平成30年度の主な事業内容は。

**答** 中国烟台市との友好協力都市締結25周年となる。烟台市を訪問したり、相手方からの訪問団を受け入れたり、記念祝賀会の開催を予定している。

**■証明書コンビニ交付事業**

**問** コンビニ交付サービスの利用件数は。

**答** 平成29年度は、現時点

で約400件である。

**■仮設住宅管理事業**

**問** 応急仮設住宅24団地1015戸は全て入居者がいる住宅か。

**答** 現在すでに入居者がなく、平成30年3月31日までに撤去される住宅も含む。そうした住宅も、解体までの間は管理が必要である。

**問** 来年度以降も入居者が残る予定の住宅はどのくらいあるのか。

**答** 2月末時点で、72戸128人である。再延長の対象は2戸3人なので、それ以外は30年度中に応急仮設住宅を解消する予定。

**■生活困窮者自立支援事業**

**問** 就労準備支援事業が増額となっているが、事業内容は。

**答** 支援対象者の居場所となる中間的施設を整備するもの。就労の前段階としての、生活習慣やコミュニケーション能力を育てる。

**問** 学習支援も増額となっているが事業内容は。

**答** これまで市中心部で行ってきたものを、田老、

## 【平成30年度の主な新規事業】

|                   |           |                                                          |
|-------------------|-----------|----------------------------------------------------------|
| 地域水産物魅力発信事業調査     | 50万円      | 生産者や生産現場などを含め、地域水産資源等を全国に情報発信するための調査を行います。               |
| サーモンランドシンポジウム開催事業 | 260万円     | 基幹産業である水産業の現状、サケの水揚げ増大に係る資源管理の重要性などの取り組みを知るシンポジウムを開催します。 |
| 浜の活力再生施設整備事業      | 1,550万円   | サケ・マス種苗の安定的な生産および放流を目的とした施設の改修費用を支援します。                  |
| 水産業・漁村復興支援調査事業    | 970万円     | 漁業の担い手を確保するため、漁業体験の研修プログラムの検討や、マダラ等の販路開拓に向けた取り組みを行います。   |
| 早池峰山荘改修事業         | 1,347万円   | 利用者の利便向上のため、早池峰山荘を改修します。                                 |
| 子ども・子育て幸せ基金事業     | 2億2,480万円 | 子どもを安心して産み、幸せに育てられる環境整備等を推進するための基金を創設し、子育て支援の事業を展開します。   |
| 花輪保育所整備事業         | 1,737万円   | 花輪保育所の建て替えのための調査・設計を行います。                                |
| 重茂中学校特別教室棟改築事業    | 1億663万円   | 老朽化した重茂小学校の特別教室棟を改築します。                                  |
| 都市公園バリアフリー化事業     | 1,500万円   | 公園施設（トイレ等）のバリアフリー化を進めるため整備を行います。                         |
| 携帯電話不感地域解消事業      | 1,722万円   | 移動通信用基地局を整備し、情報通信基盤の充実と災害時における通信網の多重化を図ります。              |
| 災害対応テレビ会議システム整備事業 | 1,048万円   | 本庁舎、各総合事務所及び現地災害対策本部を結び、災害対応テレビ会議システムを整備します。             |
| 公共交通利用環境整備事業      | 2,437万円   | 磯鶏駅及び津軽石駅の構内にトイレを整備し、駅の利用者の利便性の促進を図ります。                  |
| 中心市街地拠点施設完成記念事業   | 851万円     | 中心市街地拠点施設の完成を記念して落成式等を行います。                              |
| 浄土ヶ浜第4駐車場整備事業     | 336万円     | 浄土ヶ浜第4駐車場の整備を行います。                                       |
| 災害公営住宅入居者交流施設整備事業 | 1,000万円   | 入居者のコミュニティ形成を図るため、田老三王災害公営住宅敷地内に休憩施設を整備します。              |

本的な考え方は。入所が比較的容易となるため年齢を限定した。

**答** 在宅で子育てをする間に収入の減少が見込まれるため、それに対する支援として位置付けている。1歳を過ぎると保育所などへの

## 農林水産業・商工

**■林業振興費**

**問** ナラ枯れ・マツクイムシ被害の巡視活動は計上した予算で十分なのか。

**答** 巡視はナラ枯れ発生以前より行っているもので、年間で36回を予定。巡視員の大きな負担にはならないと考えている。若手県で上空からの監視も行っている。

**■産業振興補助金**

**問** かつて岩手大学などとの連携を行っていたが、産学官連携の現状は。廃校舎の活用をしようか。

**答** 連携は継続中である。成果が出た時に公表できると考えている。公共施設の利活用も検討したい。

## 土木・消防

**■街灯管理事業**

**問** LEDと蛍光灯などの割合はどのくらいか。

**答** 全6430灯のうちLEDは1109灯。そのほかは蛍光灯などである。故障等があれば順次、LEDへと取り替えている。

**■道路橋梁費**

**問** 道路等の補修の年間の見通しは。

**答** 毎年250件程度の要望があり、190カ所程度を実際に着工している。

**問** 凍結による道路破損があると聞くが、宮古市でもそうした事例はあるのか。

**答** 7、8箇所程度存在する。震災等の復旧工事によりダンプが頻繁に往来することで破損した道路は、復興工事を所管する三陸国道事務所などと協議し対応することもある。

**問** 除雪車両の賃借料が増加しているが詳細は。また、民間の車両を借り上げるなどできないか。

**答** 新年度は4千700万円、除雪車両2台を追加した。費用削減は今後の課題である。

**■港湾総務一般**

**問** タグボート常駐のための経費の内容とは。

**答** フェリー運航のために必要な、タグボートを常駐させるための費用であり、具体的には4人の乗員の人

件費や、船の運行や点検・整備にかかる費用などである。

**■災害公営住宅入居者交流施設**

**問** 事業の目的と内容は。

**答** 被災者をはじめとする地域住民の交流促進のため、災害公営住宅付近にあずまや・テーブル・ベンチを整備予定である。

## 教育・災害復旧

**■国際理解推進事業**

**問** 新年度からの事業内容は。

**答** 小学校3年生以上の児童が対象となる。3・4年生は外国語活動を、5・6年生は教科としての外国語を学ぶことになる。授業を行うのは日本人の教員である。

**■公共土木施設災害復旧費**

**問** 新年度で台風10号関連の復旧は終了するのか。

**答** 全ての復旧工事を平成30年度内に契約し、平成32年度までに工事を完了させたい。

## 特別会計

**■国民健康保険事業勘定特別会計**

**問** 国民健康保険税の税収が減少しているが原因は。

**答** 国保から社保への転出などもあり、国保加入者が減少しているため。

**問** 国保広域化の被保険者や市へのメリットは。

**答** 県内の他自治体に転居しても、保険者が県となるため、高額療養費の限度額計算が継続される。

## 企業会計

**■水道事業**

**問** 事業会計の年間総排水量が減少している理由は。

**答** 一番大きいのは、水産加工業の事業休止。また、復興事業の完了に伴う撤退で事務所や宿舍が減少していることも関係している。

**問** 総排水量、有取水量の減少は今後も続くのか。

**答** 人口減少や、節水器具の進歩により長期的には減少の傾向にある。

## 採決のゆくえ

議案第1号「平成30年度宮古市一般会計予算」では、田老庁舎新築工事实施設計業務委託料について、「田老新庁舎の実施設計にあたっては、宮古信用金庫の業務スペースを除くこととし、宮古信用金庫の業務スペースについては、既存公有施設の空きスペースの貸付及び別棟の公有施設の設置による普通財産としての貸付等、長期の貸付での対応とするよう求める。」との付帯決議案が提出されました。

採決の結果、賛成13、反対13の可否同数となり、委員長裁決により、否決されました。

## 議会とくくとびっくす

# 道の駅たろうがグランドオープン



田老第一中学校の太鼓演奏

田老地区で移転整備の進んでいた「道の駅たろう」が4月7日、グランドオープンし、市議会からも多くの議員がオープニングセレモニーに出席して、施設の本格稼働を祝いました。

式典では山本正徳市長があいさつしたほか、田老第一中学校の生徒による太鼓演奏や、関係者による餅まきが行われ、あいにくの花曇りとなった天気にもかかわらず、会場は明るく賑やかなムードに包まれました。

道の駅たろうは、平成28年7月、産直ドームなどの開店を皮切りに、観光案内所や食堂、餅店などが順次オープン。本年3月に全ての施設・店舗が供用開始となったものです。

今後は、先月21日に開通した三陸沿岸道路の田老真崎海岸インターチェンジから繋がる「三陸ジオパークのゲートウェイ」として、新たな観光創出の拠点となることが期待されています。同日は、周辺施設のドッグラン「ワンたろう」の利用も開始され、愛犬家とペットで賑わっていました。



道路情報・休憩施設の内部

## 宮古市議会の情報をリアルタイムで

### インターネット中継

本会議は生中継（ライブ）しています。  
録画中継は、本会議のおおむね5日後（土日祝を除く）から配信いたします。（パソコン対応のみ）

### Facebook

宮古市議会のトップページのリンクをクリックしてご覧ください。

### みやこハーバーラジオ（82.6メガヘルツ）

本会議開催中の午前8時20分頃からの放送です。

### 次回6月定例会議

6月上旬開催予定です。会期日程が決まり次第、宮古市議会のホームページトップに掲載します。  
詳しくは議会事務局におたずねください。

（☎ 68-9113）

### 議会広報編集特別委員会

委員長 須賀原 チエ子  
副委員長 白石 雅一  
編集委員 今村 正  
小島 直也  
佐々木 清  
伊藤 清  
佐藤 清  
坂下 正明

そのような中、季節も冬から春へと繋がり、私たち議員は任期満了となり、今号をもって現編集委員会メンバーでの編集作業が最終回になります。今日までご愛読いただいた市民の皆様、心から感謝を申し上げます。

あの悪夢のような東日本大震災から早いもので7年が経過しました。去る3月11日は、本市で岩手県・宮古市合同追悼式が行われるなど、沿岸各地で犠牲者のありし日を思い、ご遺族をはじめ、多くの関係者参列のもとに鎮魂の追悼式が執り行われました。改めて、犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に、1日も早い復興を誓い合いたいものと思います。

編集  
後記

編集委員  
佐々木 重勝